

平成 22 年度(2010 年)活動基本方針

スローガン 「よりよいスカウティングをより多くの青少年に」

基本方針 1 「地区の可視化を図る」

2 「若い人の声が反映される地区造り」

県連改革検討委員会から平成 19 年 3 月 11 日付「県連の地区のあり方に関する地区再編」の答申を受け、東ブロック(阪神 6 地区)の協議を経て、芦屋地区と西宮地区が再編・統合に向け合併委員会を設けて協議を重ねた結果、芦屋・西宮地区が合併の合意に至りました。

両地区は、スカウトの目線に立った活動しやすい地区にするためにはどうしたらよいかという共通認識の基に協議が進められたため、建設的な意見が数多く出る中、協調ムードも盛り上がり、新生「阪神さくら地区」が誕生したものです。

「阪神さくら地区」スタートの年度に当たる基本方針としては、日本連盟・兵庫連盟の基本方針を十分理解し、咀嚼したうえで地区として活動する必要があることは言うまでもありません。

当地区が地域の人々から魅力ある団体として認知されるためには、よりよいスカウティングをより多くの青少年に提供することが必要であると考えております。

このことを踏まえ、スローガンとしては、「よりよいスカウティングをより多くの青少年に」を掲げたいと考えております。

基本方針としては、「地区の可視化を図る」と「若い人の声が反映される地区造り」の 2 点を掲げたいと思います。

第 1 点目の「地区の可視化を図る」

については、地区のスカウト、指導者、保護者に対し各種情報を提供することにより、その情報を共有することから誰もが迅速に対応することができ、風通しのよい地区が出来上がると考えております。

また、ボーイスカウト運動に携わっていない人に対しては、ボーイスカウト運動の「考え」「活動」が視えることにより、更に理解を深めていただき関心を持ってもらえると同時に意見を承る機会が増え、地域内のボーイスカウト活動の「向上」「活性」に役立つと考えております。

第 2 点目の「若い人の声が反映される地区造り」については、柔軟な思考を持っている若者の声を反映し、活躍できる場を提供することにより地区内のボーイスカウト活動が活性化し、強いては内外から視て活力ある魅力的な団体になると考えております。

新生「阪神さくら地区」の基礎を盤石にし、これらの目標を実現するためには、皆様方のご協力・ご支援をなくして成し得るものではありません。

全員が一丸となり目標達成に向けて頑張りましょう。